2005年度未踏ソフトウェア創造事業（未踏ユース）

低レベルVMを利用した，ハードウェア仮想化技術の開発

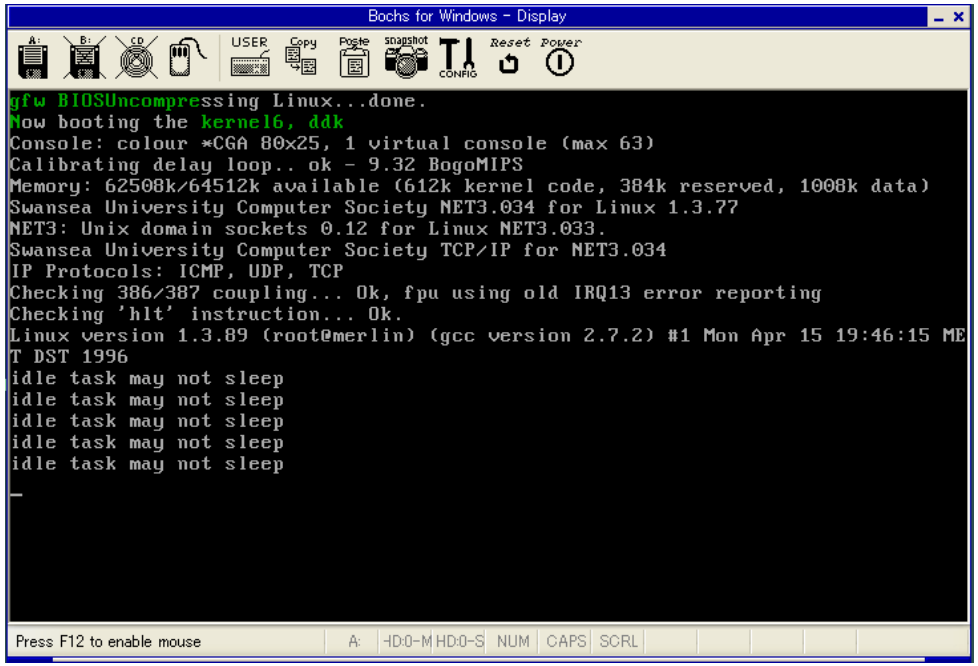
開発者：高橋一志

Ethernetで互いに接続されたPC上で、異種OS間での、デバイスを自由にやり取りしたい。
そのためVM上でOSを走らせ、CPUのin, out命令レベルでのデバイス仮想化を行う！

1．FD等でVMをブートさせてから、改めて、ゲストOSをVMからブートさせるという形式をとる。

2．VM上で動かすゲストOSは、再コンパイル等一切の変更を加えない。

3．Ethernetに接続されたリモートのVMに対してローカル側より、任意のポートへのout命令が可能



完全ではないが、VM上でLinuxが起動中